

誰に何をどう伝えるか ～不審者侵入情報からの教訓～



教育随想

愛知県立岡崎聾学校

校長 能田 康雄 氏

学校は子供たちにとって、安心・安全な場所ではなくてはなりません。以前、私が管理職として勤務していたときのことです。学校に怒鳴りつけるような声で「子供たちを傷つけるぞ!（実際はもっと過激な表現）」という脅しの電話がかかってきました。今回の件だけではなく、学校には匿名でいろいろな方から電話がかかってきます。そうしたときには、丁寧に対応し教頭に窓口を一本化していました。今回の電話は、以前にも聞いたような声、話し方だったので、嫌がらせの可能性はありますが、子供の命に係わる案件なので、教育委員会に相談をし、警察にも通報をして巡回パトロールを依頼しました。PTA会長さんにも状況を伝え、協力を依頼しました。過激な反応や憶測が広がらないような表現で、職



令和6年12月1日

12月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

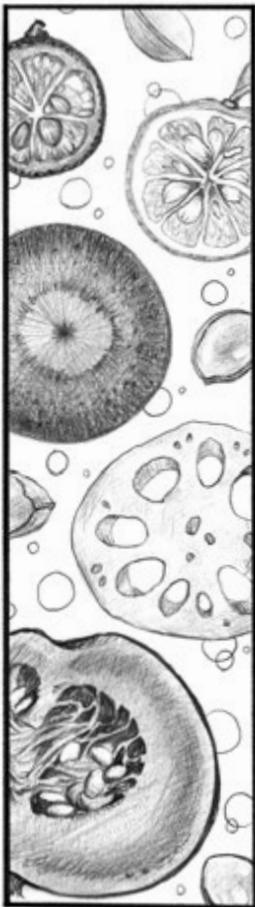
今月の紙面

教育随想……………	1
愛知県立岡崎聾学校 校長 能田 康雄 氏	
この人に聞く……………	2
服部工業株式会社 代表取締役社長 服部 俊男 氏	
羅 針 盤……………	2
岡崎小学校 校長 鈴木 勝久	
ふれあい……………	3
六ツ美西部小学校 教諭 中島 翼	
特 集……………	4
おかざきの心の歌 「夢ふくらませ」に見る岡崎再発見	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
中庭で一学期終業式(昭和60年)	
この本を……………	8

員には臨時職員会議で、保護者には学校メールで事実を伝えました(①) 学校に不審者侵入情報があったこと ②子供たちの安全を確保するために教育委員会と警察に相談し、警察に巡回パトロールをしてもらうこと ③子供たちの安全確保に十分配慮した上で、授業は通常どおり行うこと)。その後、職員からは、不審者の姿が分からない、不審者侵入情報って何、保護者から聞かれても説明できないという管理職に不信を抱く声が聞かれました。再度、臨時職員会議でより詳細に状況を説明しま

した。職員は自分が具体的にどのように行動したらよいか、保護者からの問い合わせにどう答えたらよいか判断できる情報がほしかったのだと思います。 誰に何をどう伝えるか。子供たちに対して、保護者に対して、職員に対して、地域の方々にに対して。相手が求めている情報、必要な情報は何か、それが適切な情報提供といえるのか。相手の思いを想像して、信頼していただけの学校を目指します。

(のうだ やすお)





信頼される会社であり続けるために

服部工業株式会社

代表取締役社長 服部 俊男氏

岡崎市の学校給食調理で使われている「回転釜」は、すべて服部工業の製品である。創業一三〇年を超える服部工業の釜は、国内のみならず世界各地で使われている。現在では、幅広い業種のグループ会社に成長した。多方面から信頼される会社の五代目社長、服部俊男氏に話を伺った。

— 服部工業株式会社、ハットリグループとは、どのような会社ですか —

「株式会社で利益を上げて、財団法人で社会貢献をする」という思いで、初代社長は、株式会社と同時に公益財団を設立しました。

服部工業は「モノ」を作る会社です。ただ、我々の製品は一度に千人分の調理をする大きなものだから、「お客様目線」とは言いながら、本当の意味ではお客様に寄り添えていませんでした。そこで、自社給食センターを設立しました。自社の製品を使って、給食や弁当を作ることで、

よりよい厨房製品の開発や厨房サービス事業の向上につながっています。今ではグループ会社「ハットリグループ」として、その他にも様々な方面へ事業を展開しています。

— グループ会社の社長として、意識していることはありますか —

私が偉いと勘違いしないことです。社長になる前、自社給食センターで一年間働いたときの話です。弁当の配達に行ったとき、汗だくのエプロン姿の私を見て、明らかに嫌な顔をされました。ところが、服部工業の社長の息子だと分かったとたんに、対応が変わるわけです。これは将来、絶対に勘違いしてはいけないと思います。

— 絶対にはいけませんか —

「Hattori Way」という指針を作っています。我々が何を大切にして、どんな方向に向かって進むのかをまとめたものが「Hattori Way」です。この指針の中に、社員として大切にしたい考えなども明示しています。私自身もまだまだ未熟なので、判断に迷うことがよくあります。そんなときは、この指針に必ず立ち返ります。

— 「Hattori Way」の「Way」は「道」を意味する「Way」として、

「Hattori Way」の「Way」は「道」を意味する「Way」として、

あるとき、冷凍給食の納品時に、契約の温度よりも一℃だけ高くなつてしまったことがありました。ただ、契約の温度を厳しく設定しているため、安全面も品質面も何ら問題はありませぬ。このまま納品してよいかという相談を、社員から受けました。確かに、作り直すのは時間もコストもかかります。しかし、「Hattori Way」に示した「六つの約束」の一つ目、「嘘をついていませんか？」に反します。そういう前例を作ってしまったら、絶対に会社内外の不信感につながります。すべて作り直して納品するように指示をしました。

— 信頼される会社であり続けるために、この指針は変更を重ねています。

— 社長の立場から、今の子供たちにメッセージをお願いします —

失敗を恐れないでほしいです。失敗を恐れていては何もできません。そして、失敗を人のせいにはしないでください。人に言われて決めたこと、失敗したときに人のせいにしたくなります。だから、自分で考えて、自分で挑戦してほしいのです。

— 私自身も失敗を恐れず、グローバルな人材をどんどん採用し、地元岡崎から、世界中で活躍できる会社になれるよう、日々挑戦しています。



氏名 はっとり
としお
生年月日 昭和六一年
九月十日
住所 岡崎市柱町



「深い学び」を具現化する

岡崎小学校

校長 鈴木 勝久

『主体的・対話的で深い学び』をどのようにとらえて、実践をしていくのか。子供が「深い学び」を目指すためには、次の二つのことを教師が行うことが肝要だと考える。

一つ目は、子供が新しい問題に立ち向かうとき、子供自身の既有知識や経験をもとに臨めるようにすることだ。このとき教師がその既有知識や経験を把握し、教材と結びつけていくことができるかが大切である。子供の既有知識や経験が足りないという判断したならば、積極的に活動等を取り入れ、足りない知識や経験を補う必要がある。

二つ目は、子供の問いを生み出すことだ。子供の問いは、具体的に、生活場面に則した状況から生まれる。教科書の題材もよく考えられているが、教師がその教科書に書かれてい



一歩ずつ

六ツ美西部小学校

教諭 中島 翼

「どうしても、手を挙げて意見が言えないんです。」

一学期の半ば、五年生のAさんは生活アンケートにそう記した。

普段、教師や級友に対して分け隔てなくコミュニケーションをとる、明るいAさんの姿を見てきた私は、この悩みに少し驚いた。確かに、休み時間の様子とは打って変わり、授業中のAさんはおとなしい。一生懸命にノートをとり、学習に集中しているが、なかなか発言をしない。

Aさんの悩みを何とかしたいという思いから、Aさんを選んで話を聞くことにした。「手を挙げて意見を言ったほうがいいと思うけど、勇気が出ない」と言うAさんに、「そう思ったきっかけがあったの」と聞いてみた。Aさんは、少し悩むような表情をした後、重い口を開いた。

「私、自信が無いです。失敗したらどうしようとも思っています。」少し間を置いてから、

「私にはお姉ちゃんがいる、とても優秀です。だから、お姉ちゃんみたいになりたいけど、無理なんです。」と、Aさんは心の内を打ち明けてくれた。Aさんのよさを引き出すためには、少しずつ自信を育んでいくことができるようにする必要がある。「じゃあ算数の授業の始めに、前の授業の復習問題を出すから、分かったら手を挙げてみようよ。」

Aさんは小さくうなずいた。ある日の算数の授業の始めに、約束通り、復習問題を提示した。教室全体を見渡して待っていると、Aさんの手が、おそろおそろ挙がったのが分かった。

指名すると少し自信なさげに解答した。他の児童が「同じです」と言うのと、ようやく表情が和らいだ。勇気を出して挙手して発言できたことがうれしくて、授業が終わると、Aさんに真っ先に駆け寄った。勇気を出して発言したことを褒めると、Aさんは照れくさそうにはにかんだ。「まずは自信のあるところでもいいから、一日一回は、頑張って手を挙げてみよう。」

と伝えると、少しうれしそうに「はい」と答えた。それから私は、机間指導時にAさんのノートを見て、よい考えのところに赤ペンで丸を付けた。意図的に指名し、発言する機会も設けた。その甲斐あってか、Aさんは少しずつ、手を挙げて自分の考えや意見を伝えるようになっていった。授業中に発言するAさんの表情からも、自信がうかがえるようになってきた。



一学期も終わりに近づく頃には、さらに変化が表れた。チームで学習に取り組んでいるときに、外国籍の級友のためにタブレットの翻訳機能を使わせて、意見を聞き出す姿が見られるようになったのである。また、清掃活動では、仕事がうまく分担できていないことに気づき、級友に意見を伝えていた姿もあった。

二学期になり、Aさんから、「後期代表委員になりたいです。姉に少し近づけると思っています。」と相談を受けた。

「いつも授業中、チームの仲間のためにがんばっているよね。Aさんの横に立って、一緒に動いてくれるそんなリーダーになってほしいな。」とそっと背中を押しした。

Aさんは納得した様子でうなずいた。二学期以降は、大きな学校行事がたくさんある。級友のために行動し、一歩ずつ、自分なりのリーダーへと成長していく。そんなAさんを支え続けたいと思っている。

教えるべき内容を読み解いたうえで、目の前の子供の日常生活から題材を見つけ、具体的に真実味のある教材を準備すると、さらに効果が高まる。

算数・数学の場合で考えると、子供は、解き明かしたい問いが生まれれば、簡潔・明瞭・的確に物事を整理しようとする。その際に共通点を探し、統合することで新たな概念を形成することができる。小学校二年生の九九の場面で、「この方法は、どこかをやったことがある。似たようなことが前にもあったぞ」「例えば、九九の2の段と3の段を足すと5の段ができる」「1の段と4の段を足しても5の段ができる」「だったら、6の段は2の段と4の段を足せばできるのかな」「九九は習ったことを使えば、覚えなくても作ることができるぞ」という考えをもつことができれば、算数・数学はやり方を暗記して覚えるものではなく、自分で考えて創り出すものだという主体的に動き出す子供を育てることができる。

いずれも子供の姿を捉えたいうえで、その教科の見方・考え方を研究し、教材を創り上げることで、子供は新鮮な驚きや面白さと共に学びのよさを感じ、「深い学び」を具現化できるのである。

おかざきの心の歌 「夢ふくらませ」に見る 岡崎再発見



▲岡崎のハーモニーでは毎年「夢ふくらませ」を合唱している

十月十九日、岡崎のハーモニーのオープニングで、「夢ふくらませ」の大合唱が行われた。毎朝、「夢ふくらませ」の歌でスタートする小学校もある。各小学校で歌い継がれている「夢ふくらませ」は、十三年前、「岡崎の心を醸成する」ことを目的として作られた。中学校で歌われる「夢受け継いで」、小・中学校における表現運動に活用できる「夢おどる」と合わせて「おかざきの心の歌 夢三部作」となる。今回は、「夢ふくらませ」に描かれた岡崎の魅力を写真で紹介する。

「夢ふくらませ」は、一番から順に岡崎の四季を表しており、歌詞には岡崎の歴史と伝統を築いてきた様々な人・ものが散りばめられている。岡崎のどこに住む子供にとつても我が町の歌だと分かる内容である。また、歌詞をきっかけに自分のまちに興味をもち、総合学習のテーマとして学ぶ子供の姿もイメージして作られた。子供たちがふる里に愛着をもち、将来なりたい自分へと夢をふくらませてほしいという作成者の願いが込められており、「夢受け継いで」「夢おどる」の二曲へとつながっていく。

各校では、地域に学び、先人に学び、岡崎の心を育む子供たちの姿がある。「おかざきの心の歌」は、ふる里の風景や思い出と共に子供たちの心に根付いていくだろう。

今回紹介した他にも、「ふる里おかざき」の良さは歌詞の中に表現されている。この歌を聴き、頭に浮かぶ場所や、足を運んだことのある場所はいくつあるだろうか。私たち教職員こそ、岡崎の歴史や偉人、地域から学び、子供たちに培いたい「岡崎の心」を深く知る必要がある。この歌にある場所を訪れ、「ふる里おかざき」の良さを再発見するきっかけとしてみてはいかがだろうか。

♪御田植歌の 響く空(中島町)

▲悠紀斎田 御田植祭りの様子(六ツ美南部小)

♪ホタル舞い (鳥川地区など)

▲ホタルの幼虫を放流する様子(河合中)

♪春風そよぐ 菜の花 (六ツ美地区)

▲菜種油作り体験の様子(六ツ美中部小)

悠紀斎田

天皇陛下即位の大嘗祭で用いる新米を収穫するために選ばれた田を斎田という。京都より東日本の斎田を悠紀斎田、西日本の斎田を主基斎田と呼ぶ。大正天皇即位の大嘗祭で六ツ美村中島が悠紀斎田に選ばれた。その際に行われた「御田植歌」、「御田植踊り」などが、今も伝承される。

一
春風そよぐ 菜の花に
若鮎踊る 青き川
平和を願う 家康の
高き天守の わが町よ
大花火咲き ホタル舞い
御田植歌の 響く空
努めてやまぬ 光太郎
科学の息吹く わが町よ
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 忘れまい
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 夢ふくらませ

二
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 忘れまい
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 夢ふくらませ

三
爽りの大地 風立ちて
自然の恵み 人の知恵
玉石を積む 大樽の
技を受け継ぐ わが町よ
冬晴れの里 たおやかな
浄瑠璃姫を 物語る
春告ぐ祭り 滝山寺
古遠き わが町よ
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 忘れまい
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 夢ふくらませ

四
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 忘れまい
父よ 母よ ふるさとよ
おかざぎの心 夢ふくらませ

♪平和を願う家康



▲「三河武士のやかた家康館」の見学(根石小)



▲寺や家康の魅力を紹介する「大樹っ子ガイド」(大樹寺小)



▲家康学習から発展「ジュニア家康公検定」

♪春告ぐ祭り 滝山寺 (滝町)



▲滝山寺



▲鬼祭りの様子

♪玉石を積む 大樽の (八丁町)



▲八帖味噌工場見学の様子(広幡小)

本多光太郎

岡崎市出身の物理学者。当時最強の永久磁石だったK S 鋼、新 K S 鋼の発明者で「鉄鋼の父」とも呼ばれる。光太郎氏が残した言葉「つとめてやむな」は、矢作南小学校の校訓になっている。

♪努めてやまぬ光太郎 (新堀町)



▲光太郎の勉強部屋が残る本多光太郎資料館(東公園内)



♪浄瑠璃姫を物語る (吹矢町)



▲瑠璃山 成就院



▲浄瑠璃姫の墓(成就院)

浄瑠璃姫

岡崎の矢作の宿が主な舞台。身分を隠して京から奥州に向かう源義経が、矢作の長者の娘である浄瑠璃姫と出会い、惹かれ合う仲になるものの、悲恋の結末を迎える。



四季の会・冬研修会開催

十二月二十四日(火)十四時
総合学習センター多目的
ホール・各学校(オンライン)

講師

- ・東京経営短期大学こども教育学科特別講師
- ・幼児教室講師兼経営者
- ・競泳・池江璃花子選手の母 池江 美由紀 氏

講師紹介

約三十年間、子どもたちの能力開発教室において指導してきた。子どもの才能を引き出し、本番力、人間力、何があってもあきらめない強い心を育む指導をしている。

ジュニア家康公検定

令和七年一月十七日(金)

各小学校

対象 小学校六年生

申し込み 各担任に申し込み

(本年度は申し込み終了)

方法 マイタブレットにより

検定を行う。



内容 徳川家康公の関連問題
五十問出題(四者択一)
受検記念品 オリジナルクリ
アファイル(全員)
表彰式 令和七年三月一日(予定)

OKIE Festa2024

十一月九日(土)岡崎市総合学
習センターにおいて、「OKIE
Festa2024」を行った。
英語によるコミュニケーション
能力の向上や国際理解を深
めようとする態度の育成等を
目的としており、平成三十年か
ら今年で五回目の開催となる。
対象は、小学校六年生、中
学校一・二年生で、日頃、外
国語活動や英語学習で各校に
派遣されているALTたちが
講師となり、オールイングリッ
シュでの体験活動を行った。

表彰

- ◆JOCCジュニアオリンピックカップ
第18回U18第55回U16陸上競技大会
○円盤投(1,500kg)
10位 福岡中 宮地 嵐俄
- ◆第6回愛知県中学校新人陸上競技大会
○男子3000m
1位 大会新
福岡中 坂井 俊太
- 男子1500m
1位 南中 尾田 祥太
- 男子800m
1位 六ツ美中 村松 支葵
- 女子円盤投(1,000kg)
1位 翔南中 鈴木 万結
- 男子円盤投(1,500kg)
2位 福岡中 瀧川 創介
- 男子走高跳
2位 竜海中 田井中大和
- ◆第31回愛知県中学校カヌー大会新人戦
○男女総合
1位 新香山中
2位 女子総合
1位 新香山中
- 男子総合
2位 新香山中
- 男子カヤック一人乗り
1位 新香山中 水野 樹
- 女子カヤック一人乗り
1位 新香山中 市名 柚月
- 男子カヤック二人乗り
1位 新香山中 水野 樹・針生虎之助
- 女子カヤック二人乗り
2位 新香山中 板倉 ゆい・市名 柚月
- 3位 内田 真緒・鈴木 杏梨
- 男子カナディアン二人乗り
2位 新香山中 伊藤 志映・中澤 一護
- 3位 小野田圭杜・末吉 悠真
- 女子カヤック四人乗り
2位 新香山中 板倉 ゆい・市名 柚月
- 3位 内田 真緒・鈴木 杏梨
- 長谷川理央・梶 絵美梨
小山日菜乃・沼沢 瑠那
- 男子カヤック四人乗り
3位 新香山中 藤川 耀斗・水野 樹
- 瀧澤 航平・針生虎之助
- ◆第13回日本学校合奏コンクール
2024全国大会グランドコンテスト
○中学校の部
最優秀賞 翔南中
優秀賞 福岡中
- ◆第91回NHK全国学校音楽
コンクール全国コンクール
優良賞 三島小
- ◆第67回中部日本吹奏楽コン
クール本大会
○中学校部門小編成
銀賞 矢作中
- ◆第38回東海マーチングコンテスト
○パレードコンテストの部
銀賞 南中
- ◆令和6年度愛知県中学生技
術・家庭科創造ものづくり
フェア 愛知県大会「創造ア
イデアロボットコンテスト」
○計測・制御部門
2位 福岡中 梅村 明煌・垣花 竜翔
- 3位 樋口琥央真・大石 新
- 飯島章之亮
- ◆第68回日本学生科学賞 愛知県展
学校賞 南中
最優秀賞(愛知県教育委員会賞)
南中 西本 紬
- 最優秀賞(名古屋科学館賞)
南中 古田 志織
- 岩津中 犬塚 大介
- 最優秀賞(読売新聞社賞)
東海中 丸山 喜生
- ◆第72回統計クラブ全国コンクール
○第1部(小学校1~2年生)
佳作 三島小 浅野 新太
- 第2部(小学校3~4年生)
入選 井田小 加藤日々希
- 第3部(小学校5~6年生)
佳作 竜美丘小 中野 莉絵
- 第4部(中学生)
佳作 竜海中 野田紗恵理
- パソコン統計クラブの部
佳作 新香山中 藤井星史郎
- ◆第68回愛知県統計クラブコンクール
○第1部(小学校1~2年生)
金賞 三島小 浅野 新太
- 第2部(小学校3~4年生)
金賞 三島小 中西 真優
- 第3部(小学校5~6年生)
金賞 三島小 判治 里紗
- 三島小 丸山 明莉
- 竜美丘小 中野 莉絵
- 第4部(中学生)
金賞 竜海中 織田浩太郎
- 竜海中 野田紗恵理
- パソコン統計クラブの部
金賞 新香山中 早川 琴美
- ◆令和6年度みどりの少年団表彰
みどりの奨励賞
(国土緑化推進機構理事賞)
形埜小
◆令和6年度全国緑の少年団活動発表大会
大会会長賞 形埜小
◆第35回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
佳作特別賞(パッケージに掲載)
南中 大谷美沙希
南中 高田 真緒
佳作 南中



- ◆令和六年度全国学力・学習状況調査における岡崎市立小中学校児童生徒の結果について
- 1 調査分析概要(全国の平均正答率と比較して)
- 小学校においては、国語の「書くこと」「読むこと」が「できていない」、「話すこと・聞くこと」が「おおむね満足できる」状況である。算数の「数と計算」「変化と関係」が「たいへんよくできている」、「図形」「データの活用」が「できていない」状況である。
- 中学校においては、国語の「読むこと」が「たいへんよくできている」、「書くこと」が「よくできている」、「話すこと・聞くこと」が「できていない」状況である。数学の「データの活用」が「たいへんよくできている」、「関数」が「よくできている」、「数と式」「図形」が「できていない」状況である。
- 2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組
- (1) 国語、算数・数学における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を詳細に把握します。
- (2) (1)の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事等が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校で行っている「教育診断アンケート(学校評価)」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むよう指示します。
- (4) 子供たちの生活習慣や学習環境が学力に影響を及ぼすことを、家庭や地域に周知した上で、家庭や地域と連携しながら改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めるよう、各学校に対し指示します。

令和6年度全国学力・学習状況調査 岡崎市の分析結果

〈小学校6年生〉

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<p>できている</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力がたいへん優れている。 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができている。 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が優れている。 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える力がやや弱い。 学年別配当漢字表に示されている漢字を、文の中で正しく使う力が弱い。
算数	<p>たいへんよくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> 除数が小数である場合の除法の計算をする力がたいへん優れている。 問題場面の数量の関係を捉え、式に表す力がたいへん優れている。 速さの意味についてたいへんよく理解している。 除数が小数である場合の除法について、除数と商の大きさの関係についてたいへんよく理解している。 直方体の見取り図について理解し、かく力がやや弱い。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている児童の方が、正答率が高い傾向にある。 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている児童の方が、正答率が高い。 分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができている児童の方が、高い正答率を得ている。 「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらの時刻に寝ている」「毎日、同じくらの時刻に起きている」など、規則正しい生活を送る児童の方が、正答率が高い。 「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」など、自己肯定感が高く、承認欲求が満たされている児童の方が、正答率が高い。
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> 「人が困っているときは、進んで助けている」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童の割合は、全国平均を上回っている。 学校の授業時間以外の普段(月曜日から金曜日)や、土曜日や日曜日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間(学習塾や家庭教師、インターネットを活用した学び等も含む)は、全国平均を下回っている。

〈中学校3年生〉

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<p>よくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする力がたいへん優れている。 文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉える力がたいへん優れている。 文の成分の順序や照応について、たいへんよく理解している。 具体や抽象など、情報と情報との関係についてよく理解している。 必要に応じて質問しながら話の内容を捉える力がやや弱い。
数学	<p>よくできている</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する力がたいへん優れている。 確率を求める力がたいへん優れている。 与えられたデータから最頻値を求める力がたいへん優れている。 等式を目的に応じて変形する力がたいへん優れている。 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表す力がやや弱い。
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> 「朝食を毎日食べる」生徒は、そうではない生徒に比べ、高い正答率を得ている。 「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている生徒の方が、正答率が高い傾向にある。 「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」など、自己肯定感が高く、承認欲求が満たされている生徒の方が、正答率が高い。 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」との質問に対し、「ほぼ毎日」と回答した生徒の方が、高い正答率を得ている。
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> 「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。 放課後や週末において「部活動」や「習い事」に取り組んでいると答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。 「毎日同じくらの時刻に起きている」「毎日、同じくらの時刻に寝ている」と答えた生徒の割合は、全国平均を下回っている。

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ
ツ
ト

六ツ美中 大竹 紗弥加

中庭で一学期終業式 (昭和60年)

写真提供：北野小学校



写真は、昭和六十年四月に開校した北野小の一学期の終業式の様子である。体育館が建設中だったため、全校児童が中庭に集まり、青空の下で終業式となった。

この中庭は、上履きのまま外に出ることができ、休み時間には多くの子供たちが楽しく過ごし、憩いの場、交流の場となっている。また、五月に行う「こいのぼり集会」などの全校が集まる場所としての役割も担っている。

どの学校にも、子供たちが集まる特別な場所がある。何年後か、母校を訪れたときに懐かしさと共に、その頃の思い出も蘇る。

本音を打ち明けてくれたAさん。子供たちは、周囲との関わりの中で、様々な思いをもつ。手を挙げられない、自信がもてない。悩んだ末にAさんは教師に本音を伝える。成長しようと陰で努力し続けているその表情は少しずつ、晴れやかに変わった。一年の終わりに、Aさんに心の変化について聞いてみたい。

とホ

トップオブメーカーとして、半端な製品は提供できないというプライドが、社長の語るエピソードににじみ出る。「Hattori Way」で理念や目標を共有することで、社員が一枚岩となって働くことができている。信頼される会社であり続けるための努力を惜しまない。私たち教員も見習うべき姿勢である。

師走



▲長距離走大会(六ツ美中学校)

次の世代に脈々と受け継がれていく「おかげの心の歌」。岡崎の子供たちが考えた言葉を使い、豊かな自然と歴史と伝統ある岡崎の魅力が、歌詞に込められている。日々の忙しさの中で少し立ち止まり、岡崎の自然に触れ、歴史を振り返り、そこに思いをはせてみてはどうだろうか。



*ヒト心あれば魚心 高橋 宏司 京都大学学術出版会 ¥2,200

心に残った一文 簡単だと思っても、必ずしもうまくいかないのが研究なのだ。

身近な魚たちが見せるヒトのような振る舞いに「心」を感じた筆者は、「魚類心理学」を志す。魚の心をのぞいてみたいと、工夫を凝らした実験と行動観察を繰り返す。敵がいない環境で過ごしていると、餌の取り方が大胆になるヒラメ。「釣られてたまるか」と釣りの仕掛けを見極めるタイ。見えてくるのは、想像以上に賢くて柔軟な魚の心である。「ヒトに魚と親しむ心があれば、魚もそれに応じる心がある」。タイトルに沿った研究の数々は、すべて魚の心を想像した仮説に基づいている。そこには、子供の思いに沿って手だてを講じる、日々の授業づくりのヒントが隠れている。

- *クスノキの女神 東野 圭吾 実業之日本社 ¥1,800
- *はたらく土の虫 藤井 佐織 瀬谷出版株式会社 ¥2,400
- *かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった 新井 洋行 株式会社バイインターナショナル ¥1,350 常磐南小学校 林 幸康